# 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日


上場会社名　株式会社 アルメディオ　　上場取引所　東
コード番号　7859　URL http://www.almedio.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理･情報開示･IR担当　(氏名) 関　清美　TEL 042-511-0500

四半期報告書提出予定日　平成30年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 2,619 | 12.7 | △15 | ― | △22 | ― | △60 | ― |
| 29年3月期第3四半期 | 2,323 | △21.9 | 58 | △43.0 | 67 | △35.0 | 48 | △56.7 |

(注) 包括利益　30年3月期第3四半期　△51百万円　(―%)　29年3月期第3四半期　△70百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | △6.32 | ― |
| 29年3月期第3四半期 | 5.30 | 5.17 |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 4,280 | 2,655 | 61.8 |
| 29年3月期 | 3,818 | 2,694 | 70.5 |

(参考) 自己資本　30年3月期第3四半期　2,644百万円　29年3月期　2,693百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | ― | 0.00 | ― | 2.50 | 2.50 |
| 30年3月期 | ― | 0.00 | ― | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 2.50 | 2.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,650 | 16.9 | 30 | △1.3 | 15 | △54.7 | △25 | ― | △2.62 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期3Q | 9,702,316 株 | 29年3月期 | 9,702,316 株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期3Q | 118,437 株 | 29年3月期 | 288,937 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期3Q | 9,523,464 株 | 29年3月期3Q | 9,172,469 株 |

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※四半期決算補足説明資料関係
・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト（http://www.almedio.co.jp/）のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資、雇用環境の改善傾向が続き、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しております。

一方、世界経済は、北朝鮮情勢の緊迫化や、新興国経済の先行き及び欧米の政治動向への懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、平成29年５月12日付「再成長計画（ReGrowth2017）の実施について」で公表したとおり、新たな収益事業の早期育成を目指し、事業構造改革を進め、当社の企業価値再成長に向けて「経営体制の強化」と「新成長ドライバーの確立」に引き続き取り組みました。

再成長計画に基づき検討をすすめ、今後成長が見込まれる市場での新たな事業化を目的として、平成29年５月29日付「株式会社グローバルサーチが運営する不動産総合比較サイト「イエカレ」の事業譲受けに関する契約締結のお知らせ」で公表したとおり、事業譲受けによりＷＥＢビジネス事業へ参入しました。

また、インダストリアルソリューション事業で注力してきました画像認識技術を活かした外観検査装置ビジネスにつきましては、早期の収益化の実現は困難であると判断し、平成29年５月29日を以って撤退しました。

なお、平成29年７月20日付「中国子会社設立に関するお知らせ」及び平成29年10月２日付「（開示事項の経過）中国子会社設立に関するお知らせ」で公表したとおり、中国市場でのカップ式自動販売機のオペレーション事業に参入するため、中国上海市に当社100%資本の子会社（愛飲（上海）貿易有限公司）を平成29年９月25日に設立しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高26億19百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。利益面は、営業損失15百万円（前年同四半期は営業利益58百万円）、経常損失22百万円（前年同四半期は経常利益67百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失60百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、事業譲受けにより新たなセグメントとして「ＷＥＢビジネス事業」を新設しております。また、当第３四半期連結会計期間より、中国市場でのカップ式自動販売機のオペレーション事業を開始することに伴い、「その他事業」を新設しております。

**アーカイブ事業**

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びＡＶ機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、企業活動によって得られた過去の蓄積データの長期保存と、保管コスト削減を目的とした需要に対し、長期保存用光ドライブ及び長期保存用光ディスクを起点としたソリューション提案を行いました。販売体制の強化のため、ＥＣサイトの活用に加え、国内販売網の再構築を行い、新規顧客として医薬品メーカーに加え、宮内庁公文書館などの文化施設への販売を開始しました。更に、第１四半期連結会計期間より拡充した新規商材の拡販を行いました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブ搭載率の低下スピードは鈍化傾向にあり、特に国内は半導体需要の増加を背景に設備投資が積極的となったことから、堅調に推移しました。一方、当第３四半期連結会計期間では、米国向け顧客からの需要が弱まりました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は11億95百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。

**断熱材事業**

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っております。また、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内では、耐火材料及び関連製品の需要増に伴い受注件数が増加し、計画を上回りました。九州事業所では、産業炉加熱プラントの設計施工案件の受注拡大を図りました。

阿爾賽は、主力製品や異形成形品等の受注が堅調に推移し、また、前事業年度から販売を開始した窯道具が伸長したため、売上は前年同四半期を上回りました。なお、第１四半期連結会計期間に発生した太陽光発電用炉材向け製品の原材料供給が間に合わない問題は改善傾向にあります。

以上により、断熱材事業の売上高は10億44百万円（前年同四半期比20.1％増）となりました。

**インダストリアルソリューション事業**

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行う「テストメディア」と、画像認識技術を活かした検査装置等の開発・販売及び検査業務等を行う「検査機」、及び各種ディスクの特性テスト受託等を行う「テスティング」が含まれます。

テストメディアは、中国の日系自動車需要が第１四半期連結会計期間から好調を維持しておりましたが、当第３四半期連結会計期間では米国の自動車の買い替え需要の一巡などで、カーオーディオ・カーナビ等の車載機器向けの販売は、計画を下回りました。また、ＡＶ機器市場及びＰＣ市場においても、光ディスク以外の媒体への移行が進んでいることから、売上は前年同四半期を下回りました。

外観検査装置は、製品の改良や機能追加等の開発費用がかさみ、技術サポート体制の整備に時間がかかることから、早期の収益化は困難であると判断し、平成29年５月29日を以って撤退しました。

テスティングは、光ディスクの市場縮小により受託件数が低下したため、売上は前年同四半期を下回りました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は１億29百万円（前年同四半期比31.7％減）となりました。

**ＷＥＢビジネス事業**

当事業は、売却や投資等を検討している不動産オーナーと不動産企業をマッチングする不動産総合比較サイト「イエカレ」の運営・管理を行っております。

事業譲受けにより、平成29年６月１日から活動を開始しております。売上の拡大のため、営業スタッフの構成比率を高め、第２四半期会計期間から引き続き、「イエカレ」の新たな参画企業を獲得する活動に注力しました。また、不動産活用に関する有益な情報を発信することを目的とした新しいサイト「不動産活用の神様」を平成29年10月20日に立ち上げました。不動産市場は１月から３月が活況期となるため、「イエカレ」への流入数を増やすべく様々な施策を実行しました。しかしながら、第２四半期会計期間における業務の本格立ち上げの遅延が影響し、売上は計画を下回りました。

以上により、ＷＥＢビジネス事業の売上高は２億49百万円となりました。

**その他事業**

当事業は、連結子会社・愛飲（上海）貿易有限公司において、中国市場でのカップ式自動販売機のオペレーションを行う事業です。

本事業を開始するには、中国の法規制に伴う各種許認可の取得が必要となります。カップ式自動販売機飲料は、中国では新しい産業であり、取得には当初の想定以上の時間を要しております。中国での販売活動は、各種許認可の取得後本格的に開始します。また、当社においても原料の調達等の準備を行っております。

以上により、その他事業の売上はありませんでした。

## （２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、のれんの増加等により、前連結会計年度末に比べて４億62百万円増加し、42億80百万円となりました。負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べて５億１百万円増加し、16億24百万円となりました。純資産は、ストック・オプションの権利行使に伴う自己株式処分差損の発生等により、前連結会計年度末と比べて38百万円減少し、26億55百万円となりました。

## （３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年３月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月２日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成29年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成29年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,298,653 | 1,156,231 |
| 受取手形及び売掛金 | 644,904 | 883,246 |
| 商品及び製品 | 560,309 | 311,608 |
| 仕掛品 | 102,292 | 99,039 |
| 原材料及び貯蔵品 | 97,089 | 130,360 |
| その他 | 100,325 | 211,922 |
| 貸倒引当金 | △433 | △433 |
| 流動資産合計 | 2,803,143 | 2,791,976 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 455,261 | 440,167 |
| 土地 | 209,069 | 209,069 |
| その他（純額） | 177,161 | 227,369 |
| 有形固定資産合計 | 841,492 | 876,606 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 52,439 | 468,417 |
| その他 | 8,321 | 14,479 |
| 無形固定資産合計 | 60,761 | 482,897 |
| 投資その他の資産 | 112,634 | 129,213 |
| 固定資産合計 | 1,014,888 | 1,488,717 |
| 資産合計 | 3,818,031 | 4,280,693 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成29年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成29年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 182,366 | 188,969 |
| 短期借入金 | 209,636 | 385,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 191,276 | 90,810 |
| 未払法人税等 | 9,174 | 21,860 |
| 賞与引当金 | 34,349 | 26,298 |
| 売上値引引当金 | 2,859 | 1,486 |
| その他 | 202,051 | 246,477 |
| 流動負債合計 | 831,713 | 960,902 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 145,000 | 527,500 |
| 退職給付に係る負債 | 95,760 | 87,768 |
| その他 | 50,767 | 48,593 |
| 固定負債合計 | 291,528 | 663,861 |
| 負債合計 | 1,123,241 | 1,624,763 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,138,126 | 1,138,126 |
| 資本剰余金 | 1,091,506 | 1,091,506 |
| 利益剰余金 | 641,573 | 447,959 |
| 自己株式 | △230,206 | △94,362 |
| 株主資本合計 | 2,640,999 | 2,583,229 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 827 | 1,136 |
| 為替換算調整勘定 | 51,526 | 59,943 |
| その他の包括利益累計額合計 | 52,354 | 61,079 |
| 新株予約権 | 1,435 | 11,621 |
| 純資産合計 | 2,694,789 | 2,655,929 |
| 負債純資産合計 | 3,818,031 | 4,280,693 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成28年４月１日<br>至　平成28年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成29年４月１日<br>至　平成29年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 2,323,951 | 2,619,525 |
| 売上原価 | 1,516,891 | 1,809,370 |
| 売上総利益 | 807,059 | 810,154 |
| 販売費及び一般管理費 | 748,550 | 825,306 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 58,508 | △15,152 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,663 | 2,399 |
| 受取配当金 | 544 | 557 |
| 為替差益 | 7,057 | 2,585 |
| 助成金収入 | 4,262 | － |
| 受取賃貸料 | 215 | 2,015 |
| その他 | 1,094 | 622 |
| 営業外収益合計 | 14,836 | 8,179 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,411 | 7,226 |
| 新株予約権発行費 | － | 4,966 |
| 支払手数料 | － | 3,725 |
| その他 | 88 | 38 |
| 営業外費用合計 | 5,500 | 15,957 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 67,844 | △22,929 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | － | 358 |
| 特別利益合計 | － | 358 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | － | 54 |
| 退職特別加算金 | － | 2,722 |
| 特別損失合計 | － | 2,776 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 67,844 | △25,347 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 32,921 | 35,065 |
| 法人税等調整額 | △13,706 | △258 |
| 法人税等合計 | 19,215 | 34,806 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 48,629 | △60,154 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | － | － |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | 48,629 | △60,154 |

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自　平成28年４月１日<br>至　平成28年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成29年４月１日<br>至　平成29年12月31日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 48,629 | △60,154 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 811 | 308 |
| 為替換算調整勘定 | △119,830 | 8,416 |
| その他の包括利益合計 | △119,018 | 8,724 |
| 四半期包括利益 | △70,389 | △51,430 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △70,389 | △51,430 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | － | － |

## （３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| | アーカイブ事業 | 断熱材事業 | インダストリアルソリューション事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,264,644 | 869,498 | 189,808 | 2,323,951 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 1,264,644 | 869,498 | 189,808 | 2,323,951 |
| セグメント利益 | 130,772 | 118,292 | 56,741 | 305,806 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 305,806 |
| 全社費用(注) | △247,297 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 58,508 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | アーカイブ事業 | 断熱材事業 | インダストリアルソリューション事業 | ＷＥＢビジネス事業 | その他事業 | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,195,991 | 1,044,395 | 129,686 | 249,451 | ― | 2,619,525 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | ― | ― | ― | ― | ― | ― |
| 計 | 1,195,991 | 1,044,395 | 129,686 | 249,451 | ― | 2,619,525 |
| セグメント利益又は損失(△) | 105,802 | 140,465 | 65,070 | △71,623 | △6,690 | 233,025 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 233,025 |
| 全社費用(注) | △248,178 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △15,152 |

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間において、事業譲受けによりＷＥＢビジネス事業に参入したことに伴い、報告セグメントとして「ＷＥＢビジネス事業」を新設しております。また、当第３四半期連結会計期間において、中国市場でのカップ式自動販売機のオペレーション事業を開始することに伴い、報告セグメントとして「その他事業」を新設しております。

４．報告セグメントごとの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、事業譲受けによりＷＥＢビジネス事業に参入したことに伴い、「ＷＥＢビジネス事業」のセグメント資産を計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第３四半期連結累計期間においては490百万円であります。